

令和7年度 文化スポーツ課 事業計画（中間報告）

1. 学齢期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
市民スポーツの振興	友好都市スポーツ交流事業	姉妹都市の愛知県東海市とスポーツを通じた児童生徒の交流事業を開催することで、相互の交流と親睦を深める。	1年おきに開催地を入れ替えながら、2年1種目を原則とした交流を開催。 今年度は当市から東海市に中学生を派遣し、交流を行った。 〔時期〕令和7年8月2日(土)～4日(日) 〔会場〕東海市民体育館、東海市内文化施設等 〔競技種目〕バドミントン 〔参加〕市内中学2年生22名、バドミントン協会2名
		【成果と課題】 市内中学校バドミントン部及び地域クラブに属する中学生を東海市に派遣し、当市と東海市のこれまでのつながりなど歴史的背景や、東海市の文化などを学んだ。バドミントン交流においては、大同特殊鋼(株)バドミントン部選手を講師に、ハイレベルな技術を学んだほか、スポーツクラブ東海バドミントン部所属中学生21名と交流し、学校生活など競技以外の話題でも盛んな交流が促進され、相互理解が深まった。 令和8度は東海市中学生の派遣を当市で受け入れるものおして予算を要求中。	
将来を担う人材の育成	ラグビーによる人材育成事業	ラグビーという地域資源を活用し、将来を担う人材を育成するとともに、競技の普及促進を図る。	児童・生徒を対象としたラグビー教室(タグラグビー)を開催。 〔時期〕通年 〔実施場所〕釜石鶴住居復興スタジアム、市民体育館、各学校 〔参加〕10件、267名(R7.11月末時点)
		【成果と課題】 これまでのラグビー教室の効果の現れとして、11月16日(日)に鶴住居復興スタジアムで開催された「第7回釜石市小学校対抗タグラグビー大会(釜石東ロータリーカップ2025)」では、6校14チームが参加し、大人顔負けのレベルの高いプレーが見られた。ラグビーを通して、チームの良さに気づき、体を動かす楽しさと共に、仲間と力を合わせて物事を成し遂げる素晴らしさを味わい、心身の発達に寄与した。 市内の小・中・高校生を中心に、ラグビーを活用した人材育成を行っているが、市内各学校に温度差があり、積極的に本事業を活用して参加する学校がある一方では、参加しない消極的な学校があるため、市内全学校が参加・実施する働きかけや仕組みづくりが必要である。	

2. 成人期を中心とした事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第16回かまいし仙人峠マラソン大会	仙人峠の地理的特徴を活用した、箱根駅伝に匹敵する急勾配の難関コースを有するマラソン大会の開催により、甲西地区のにぎわい創出やスポーツによる活性化を図る。	これまで感染症予防対策により規模を縮小し大会を開催してきたが、今年度より2コースに再開。結果として、昨年度より約160名多い申込があった。 〔時 期〕10月26日(日) 〔場 所〕旧釜石鉱山事務所周辺 〔コース〕峠コース(17.2Km)、10km 〔部 門〕男女年齢別6部門 〔対 象〕大会当日満16歳以上の男女 〔参 加〕250名(293名申込)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			<p>【成果と課題】</p> <p>各地域でのマラソン大会開催の増加を背景に、今年度は昨年度より約1か月半早く開催を周知したほか、これまで釜石の銘水のみであった給水ポイントでの提供を、スポーツ飲料や栄養補給ゼリー、釜石銘菓なども加え、釜石らしさを大会に取り入れ、他マラソン大会との相違、オリジナリティの充足とランナーの満足度が向上した。</p> <p>来年度は、当市と連携協定団体の知見を取り入れ、参加選手500名という目標達成に向け、情報発信や給水ポイントの提供品の改善、ランナー視点でのコース設計の再考など、マラソン大会を通じた当市の魅力発信と交流人口の拡大、地域の活性化に努めたい。</p>
市民スポーツの振興	富山県朝日町ビーチボール交流事業	友好都市である富山県朝日町で開催される「全国ビーチボール競技大会」に釜石市からチームを派遣し、スポーツを通じての相互の交流と親睦を深める。	<p>富山県朝日町で開催された「第42回全国ビーチボール競技大会」に当市からチームを派遣し、スポーツを通じた相互の交流と親睦を深めた。</p> <p>〔時 期〕10月18日(土)19日(日)</p> <p>〔場 所〕朝日町文化体育センター サンリーナ</p> <p>〔大会名〕第42回全国ビーチボール競技大会</p> <p>〔参 加〕釜石市ビーチボール協会より男女2チーム参加</p>
			<p>【成果と課題】</p> <p>昨年度まで9月に開催された本大会が暑さ対策のため10月実施になるなどの改善が図られており、大会運営等学びの多い大会で、ビーチボール競技を通じて全国からの参加者との親睦を深めた。スポーツ経験のない人でも手軽に楽しめるスポーツとして、今後もビーチボール協会を核として当市における同競技の普及活動を推進し、友好都市との関係人口の維持、促進を図りたい。</p>

3. 地域や世代を超えた事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
スポーツイベントの推進	第51回釜石健康マラソン大会	スポーツに親しむ機会の創出と、健康増進の意識向上を図る。	<p>市民参加型年齢別のマラソン大会を開催した。</p> <p>〔時期〕10月11日(土)</p> <p>〔場所〕釜石鶴住居復興スタジアム</p> <p>〔種目〕①マラソン 5 km、5 km(UD)、3 km、2 km 1.15 km 400m(幼児の部)</p> <p>②リレー 100m×4</p> <p>〔部門〕男女年齢別21部門</p> <p>〔参加〕236名</p>
			<p>【成果と課題】</p> <p>市内参加者を中心に、市外から、遠くは東京からの一般参加があるなど、広く親しまれているマラソン大会で、幼児をはじめ小中学生やスポーツ少年団などの参加するほか、人気ゲームノキャラクターに仮装したランナーなど、応援もランナーも楽しめる大会となっている。</p> <p>少子化の影響などにより参加者数の減少傾向にはあるが、関係団体と連携し、今後もランナーにとって楽しめるマラソン大会を開催したい。</p>

施策	事業名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	ラグビーメモリアルイベント開催事業	ラグビーワールドカップ2019日本大会のレガシー継承と、「ラグビーのまち釜石」の定着及び情報発信を行う。	<p>【ラグビィグドリーム事業】</p> <p>RWC2019が開催された9月25日を「釜石絆の日」と定め、釜石シーウェイツと友好チームとのメモリアルマッチを中心に、子どもから大人まで楽しめるイベントを開催した。</p> <p>〔時期〕 9月20日(土)、21日(日)</p> <p>〔場所〕 釜石鵜住居復興スタジアム</p> <p>〔来場者数〕 1,200名</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>ラグビーワールドカップ2019大会のレガシー継承として、ラグビー交流試合を基軸として以下のイベントを開催した。</p> <p>○ともだちマッチ【9月20日(土)】</p> <p>メモリアルマッチとして、釜石シーウェイツ対静岡ブルーレヴズの試合を開催した外、ラグビー体験コーナーや地元の食材などが味わえる「うのスタ・フードコーナ」等を設け、釜石ラグビーならではのおもてなしを提供した。</p> <p>○ともだちジュニアマッチ、高校生絆マッチ【9月21日(日)】</p> <p>中学生交流試合として、静岡ブルーレヴズラグビースクール(中学生)、釜石シーウェイツアカデミー、弘前サクラオーバルズとの交流試合を実施した。また地元高校3年生の引退試合にも位置付けられた釜石高校、釜石商工高校、大船渡東高校での釜石合同チームと宮古高校、宮古商工高校の宮古合同チームの試合を開催し、市内外からの観客で賑わった。</p> <p>引き続き、ラグビーワールドカップ開催時のメモリアルな空間を創出するため、また関係者との絆を継承するイベント開催となるため、より絆を深めつつ広がりを持たせる企画と、天候に左右されない集客が必要である。</p>		
市民スポーツの振興	健康づくりによる復興コミュニティ形成支援事業	ニュースポーツや軽体操など、高齢者を中心に誰でもできる運動を指導することにより、市民の身体健康維持増進と、ストレスの軽減や、生きがいづくりへの支援、ひきこもりの防止など、こころの健康維持増進を図る。	<p>市民の健康増進、健康長寿を目的に運動体力維持活動支援策としてニュースポーツ等を取り入れた健康教室を市内各地で実施。</p> <p>〔時期〕 通年</p> <p>〔場所〕 復興住宅・各地区公民館ほか</p> <p>〔対象〕 地域住民</p> <p>〔参加結果〕 294回 3,147人 (R7.4.1~11.30)</p>
	<p>【成果と課題】</p> <p>各地区での参加者が固定化しつつあるものの、市民における心身の健康に対する意識の醸成に寄与しており、引き続き事業を継続していく上で、連携協力団体のノウハウに学ぶなど、魅力ある事業にするべく更に取り組み、市民の健康寿命の延伸に繋げる。</p>		
	第7回釜石市公民館対抗ニュースポーツ交流大会	ニュースポーツを通じて市民の健康維持増進への関心を高めてもらうことや、他地域のとう交流の場を創出するもの。	<p>市民へのニュースポーツ普及や健康増進を推進することを目的として、8地区公民館対抗でのニュースポーツの大会を開催。</p> <p>【内容】</p> <p>市内8地区各公民館から22名程度でチームを構成し3種目のニュースポーツ対抗戦を行い、交流と親睦を深めた。</p> <p>〔時期〕 12月6日(土)</p> <p>〔場所〕 市民体育館</p> <p>〔参加〕 250人(スタッフ等含む)</p>

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
			〔実施競技〕屋内グラウンドゴルフ、スカットボール、ポッチャ、(卓球バレー) 〔結果〕優 勝-鶉住居公民館 準優勝-平田公民館 第3位-唐丹公民館
	<p>【成果と課題】</p> <p>今年度は新たな種目として「卓球バレー」を取り入れ、お試し試合を行ったほか、岩手県障がい者スポーツ協会の協力により、試合を通して公認審判員による審判技術を学び、さらに2024、2025全国卓球バレー交流大会2連覇を達成した岩手県チームのデモンストレーションを実施し、ニュースポーツへの新たな興味関心を創出した。また、昨年度に引き続き、各公民館チームに小学生を参加させることで大会の目的である地域間、世代間交流が達成された。また、大会に向けて各地区において練習会や地区大会等が開催され、市民生活においてスポーツの親和性が高まっているといえる。</p> <p>参加者の交通手段として協議会及び各公民館で費用を負担し、貸し切りバスを手配した。結果として、安全な移動が確保出来たが、費用対効果を含め、来年度以降の開催に向け引き続き課題として検討するもの。</p>		

4. 学びの場を充実するための事業

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
関係団体との連携	釜石市体育協会補助金助成事業	市内各競技団体及びスポーツ少年団本部を通じての、競技団体の連携による活動の活性化を図る。	釜石市体育協会の運営支援として事業費及び人件費等を補助する。
	<p>【成果と課題】</p> <p>釜石市体育協会に加盟する各種スポーツ競技協会に対し、県民大会等への参加料金の一部を負担し、また各種大会への出場費用について補助を行ったほか、各競技協会及びスポーツ少年団への活動費に対し助成を行い、協会・団体における運営の維持継続に貢献した。</p> <p>今後も、各種スポーツ競技の技術の習得や向上、各活動に有意義な情報について加盟協会及びスポーツ少年団等への情報提供も含め、スポーツに親しみ健康な精神と体力維持に向けた活動を推進する基盤としての運営・構築に期待するもの。</p>		
	各種スポーツ団体大会等助成事業	県大会規模以上のスポーツ大会の誘致を促進して交流人口の拡大を図る。また、全国で行われるスポーツ大会に参加し釜石市のPRと市民のスポーツ向上に寄与する。	釜石市体育協会及び釜石市体育協会への加盟団体、大会実行委員会、各種競技団体が開催または参加するスポーツ大会に要する経費に対し、補助金を交付した。 【主な助成事業】 ・第9回釜石オープンウォータースイミング大会 開催日：8月3日(日) エントリー数：308人 ※悪天候により中止 ・各種スポーツ競技大会(個人参加含む) 補助件数：14件(R7.11月末)

施 策	事 業 名	事業目的	事業内容(時期・場所・対象ほか)
	<p>【成果と課題】 2016年に開催された希望郷いわて国体において初めてオープンウォータースイミングが正式種目となったレガシーとして、岩手国体以来継続的に開催され、日本水泳連盟認定大会サーキットにも指定されている大会で、全国各地からの参加があり、年々参加者の増加と併せて知名度も上がっており、スポーツツーリズムの具現化として成功している大会と言える。残念ながら今年度は悪天候の影響により中止となったが、来年度以降も関係団体に協力し、大会の継続に貢献したい。</p>		
	<p>～補助金交付団体（競技）～ ○大会開催事業 弓道協会、岩手県高等学校体育連盟柔道専門部、サッカー協会、岩手県中学校体育連盟ラグビー専門部、ウォーキング協会、釜石市スポーツ推進委員協議会 ○大会参加事業 バウンドテニス協会、シルバー釜石（野球）、釜石野球団、栗林ラビーバレーボールスポーツ少年団、第84回一関・盛岡間駅伝競走大会釜石市チーム（陸上）、ほか個人参加として相撲競技。</p>		
スポーツ情報の提供	スポーツ情報提供事業	スポーツに関する情報発信を行うことで、各種事業の参加拡大や生涯スポーツへのきっかけづくりを図る。	市ホームページへの記事掲載、体育施設等への掲示、各種催事の報道機関への情報提供等を行う。 〔時期〕 通年 〔対象〕 一般市民ほか
	<p>【成果と課題】 各種大会やイベントの告知ツールとして市HPを活用して広く情報発信が出来た。ラグビーイベントにおいてはYouTubeによりSWの試合中継や、児童をはじめとし幅広くスタジアムの紹介や事業の取り組みをPRできた。 来年度以降、市内スポーツ競技団体やスポーツ少年団等の活動状況を広報に掲載し広く情報を発信し、市民におけるスポーツの興味関心の向上を図りたい。</p>		

中学部活動の地域展開に係る現状

【地域における指導者人材の確保、活用する仕組みについて】

市内中学校の部活動における指導者の地域人材として、部活動指導員と外部指導者が活動しており、今年度より釜石市立中学校部活動指導員人材バンク登録制度を設け、各種スポーツ競技や文化芸術における公認指導者資格を有する方などを資格・要件に随時募集しております。現在は、甲子中学校卓球部、釜石東中学校卓球部、唐丹中学校バドミントン部にそれぞれ1名ずつの部活動指導員が配置され、学校及び学校外における実技指導や大会、練習試合の引率等活動しております。

外部指導者として、生徒の保護者等が外部コーチとして各学校より依頼され、部活動顧問教員と一緒に指導にあたっている状況です。

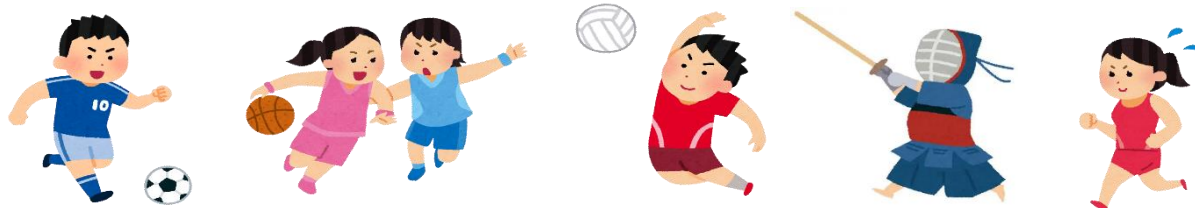
地域展開の受け皿でもある地域スポーツクラブにおいては、地域の方で各スポーツ競技の専門資格保有者、競技経験者などの指導者が保護者等と連携し、指導にあたられておりますが、長年継続的に指導に携わられている方のほか、スポーツクラブに所属する児童生徒の父兄が指導者となっているケースが多く、児童生徒の入団、卒団に併せてその指導者数に変動しており安定的な指導者人材確保が課題となっております。

【拠点校方式部活動の導入について】

各中学校において生徒数の減少等により部活動が設置されていない状況に対し、その運動部活動に参加したい生徒の技術の向上と多様な経験、人間性・社会性の育成、学校・教員の負担軽減と持続可能な部活動運営に資するものとして、市内中学校部活動において拠点校方式の導入が検討されております。

当市教育委員会において令和8年度より、陸上競技（男女）、バレーボール（男子）、バスケットボール（女子）、剣道（男女）、サッカー（男子）において導入が予定されている。

拠点校部活動とは、生徒が所属する中学校において希望する部活動がない場合、その希望する部活動がある市内の中学校（拠点校）の部活動に参加することが出来る仕組みで、拠点校部活動により大会等への参加が可能となる。



【釜石市スポーツ少年団登録状況】

- 登録団体：17 団体（R6 20 団体 比較：△4 団体）
- 指導者数：72 名（R6 83 名 比較：△11 名）
- 団員数：318 名（R6 339 人 比較：△21 名）
- 登録団で中学生を受入れている競技：5 競技／サッカー、空手、剣道、ソフトテニス、ラグビー
- 少年団本部から各少年団へのサポート：各種上位大会出場の際に補助金を支出。
- 傾向：少年団登録にあたり有資格指導者 2 名必須、指導者の高齢化、少子化等を背景とした団員数の減少により、少年団活動の持続可能な継続に様々な課題がある。



【釜石市スポーツ少年団における部活動地域移行の受け入れに係るアンケート結果（R7.8 月実施）】

○アンケート対象：17 団体

[競技] バスケットボール、空手、ラグビーフットボール、サッカー、野球、剣道、バレーボール、ソフトテニスボール

○アンケート回答：16 団体（回答率 94%）

結果抜粋

設 問	は い	いいえ	その他
地域展開の概要を知っているか？	80%	20%	
団において中学チームを構成しているか？	57%	43%	
中学校へ外部指導者として派遣しているか？	7%	93%	
中学生の地域展開は受け入れ可能か？	27%	33%	40%※

○「受け入れ可能か」に対し「その他」を選択した理由

- ・保護者の協力が得られるか、不安がある。
- ・小学生への指導以外に、中学生を指導する時間を確保できるか分からない。
- ・中学校との密接な連携が必要と考えられ、調整やその時間の確保に不安がある。など。

○地域展開への意見等

- ・指導中のケガなど、責任の所在、対処を明確にする必要がある。
- ・地域展開にあたり、指導方針や活動計画など顧問教員との打ち合わせをしっかりと行う必要があると考える。部活動は顧問教員がメインに指導に入り、そのサポートをする形で地域の方が指導員として関わるのが理想であると思う。
- ・実施地域として、釜石市に限らず大槌町を含めた広域で検討すべき。
- ・地域クラブの存続について、10 年、20 年先を考えるとその維持も困難と危惧している。

【スポーツ少年団等指導者活動支援事業】

スポーツ技術等の指導にあたり、指導者は指導者資格の取得を必須とされているが、その資格取得にかかる費用負担は団体が半数、指導者の個人負担が半数で、指導者及び団体における経済的負担が課題となっております。

子どもたちが文化・スポーツに触れる機会を創出する環境の持続的整備のためにも、指導者の育成及び確保、持続可能な運営サポートが喫緊の課題と捉え、経済的支援を予定しています。

○課題対応策（具体案：釜石市スポーツ少年団等指導者活動支援補助金）

積算根拠	・スタートコーチ：5,500円			
〈例〉	・コーチ1：受講料 15,400円	専門科目 15,400円	計	30,800円
	・コーチ2：受講料 17,600円	専門科目 11,000円	計	28,600円
			合計	64,900円

○今後の予定

- ・R8度当初予算に新規事業として検討。
- ・補助上限額を定め、対象となる団体数に応じた補助を想定。
- ・事業の内容については対象団体に対し、周知し、丁寧な説明を行う予定。

引き続き、中学校部活動を含む青少年のスポーツ環境の改善、充実のため、各関係団体と連携し指導者の質的向上、量的拡大を図り、担い手の育成と、競技団体の運営支援に取り組んでまいります。

近隣自治体における補助例

○宮古市：宮古市体育協会管轄

- ・体育協会への活動補助金内の補助事業として対応。
- ・指導者更新料@3,300 ・指導者講習料@4,400

○大船渡市：大船渡市スポーツ協会管轄

- ・スポーツ協会への指定管理料内の活動費で対応。
- ・指導者更新料@3,000 ・団活動費@定額 15,000+団員数×@200

○遠野市：遠野市体育協会管轄

- ・体育協会への活動補助金内の補助事業として対応。
- ・講習受講に係る受講料・資料代・旅費の1/3を助成。（上限なし）

